

総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市番町市民活動センター		
課名	市民自治推進課		
指定管理者名	特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会		
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和2年7月21日（火）		
評価委員 ※（ ）内は職名 等を記載してく ださい。	①委員長 秋山 健（市民局次長） ②委員 岡本 裕治（市民局参与兼市民自治推進課長） ③ 〃 鎌田 正代（男女共同参画課長） ④ 〃 松下 光恵（NPO法人男女共同参画フォーラムしずお か代表理事） ⑤ 〃 千野 和子（ふじのくにNPO活動センター長）		
評価点 (各委員平均点)	89.2点	評価	A・ Ⓑ ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏 まえての施設所管 課としての意見	<p>仕様書、事業計画書に沿って事業が実施されており、市民に寄り添った施設運営、時節にあわせた講座の実施など工夫が多くみられる。また、市民活動を市民に自分ごととして捉えてもらうことを強く意識した運営が心掛けられており、その効果が表れている。</p> <p>事業実施にあたっては、市民活動促進基本計画を踏まえ、現在の立ち位置を確認し、対象・目標等を明確にすること、事業実施後に振り返りを行うことが望ましい。また、清水市民活動センターとの連携等により、利用者目線に立った事業実施をさらに進められたい。</p> <p>事業報告書については、数字等の根拠、調査結果、意見の反映等を示すとともに、書き方を工夫する等わかりやすい報告書の作成を求める。</p>		

総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡市番町市民活動センター] 課名 [市民自治推進課]
 指定管理者名 [特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
1 履行状況の確認 【配点50点】						
(1)履行状況の確認						
ア 市民活動に関する情報の収集及び提供に関すること	5	5	5	3	5	4.6
イ 市民活動に関する相談に関すること	5	5	4	3	4	4.2
ウ 市民活動に関する講座等の実施に関すること	5	5	4	4	5	4.6
エ 市民活動を行うもの相互の間及び市民活動を行うもの と関係機関、団体等との間の連携及び交流の促進に 関すること	5	5	5	4	5	4.8
オ システムの運用に関すること	5	5	5	4	5	4.8
カ 事務ブース利用団体のマネジメント、活動の支援に関 すること	5	5	5	4	5	4.8
(2)施設の管理運営が適切に実施されたか。						
ア 市民活動の施設の提供に関すること	5	5	5	5	5	5
イ 維持管理業務	5	5	4	5	5	4.8
(3)事故・災害時の予防対策が適切に行われたか。						
	5	5	4	4	5	4.6
(4)適正な人員配置ができたか。						
	5	5	5	4	5	4.8
小 計	50	50	46	40	49	47
2 指定管理者の創意工夫 【配点15点】						
(1)特徴的な事業が実施されたか	10	6	8	8	8	8
(2)上乘せ的事业が実施されたか	5	3	4	4	4	4
小 計	15	9	12	12	12	12
3 市民（利用者）のサービスの向上 【配点15点】						
(1)利用者の満足度調査において高い評価を受けているか。	10	10	10	8	10	9.6
(2)利用者と定期的に意見交換する仕組みをつくり、出され た意見を運営に反映しているか。	5	4	5	4	4	4.4
小 計	15	14	15	12	14	14
4 施設固有の評価項目 【配点20点】						
(1)市民活動促進基本計画を踏まえた事業がされているか。	5	5	5	3	5	4.6
(2)もう一方の市民活動センターとの連携やノウハウ等の 共有化により、効果的な施設運営を実施しているか。	4	3	4	3	4	3.6

(3) 中間支援組織としての能力の向上を目指しているか。						
ア スタッフ研修	5	4	4	3	3	3.8
イ 他団体との交流	4	4	4	4	5	4.2
小 計	18	16	17	13	17	16.2
合 計	98	89	90	77	92	89.2

※ 評価委員名は記載しない

※ 平均点は、少数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

<p>【A評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ばんたび」と「かわら版」の内容区分がはっきりしており、効果的な広報、情報提供ができている。 ・SDGsなど市の取組を、市民活動センターを介して市民に自分ごととして届けられていることを強く感じた。 ・市民、そしてその人達の活動に寄り沿ったセンター運営が確認できた。 ・災害時のボランティア活動の拠点施設になることを意識した取組ができている。
<p>【B評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「番町防災の日」の設定や、SDGs関連行事まで、時節にあわせた事業を実施している。 ・HPや情報誌の認知度が低い（利用者アンケート）。 ・清水センターとの交流については、利用者目線に立って効果的な方法を考えてほしい。 ・利用者は順調に増加しているが、まだ、広く市民への周知には至っていない。 ・講座にしても、もっと他部局との連携ができるはず。
<p>【C評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲を持って工夫しながら業務に取り組んでいる様子が窺えた。
<p>【D評価委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書について、数字等の根拠、調査結果、意見の反映をしっかりと示し、毎年同じ内容になる部分であれば省略する、重点的に行った部分を厚くする、などの工夫をしてもらいたい。 ・対象、目標を明確に持って事業を実施されると良い（報告書に書かれていないだけであれば、明記した方が良い）。また、ルーチン的なものは簡単に、重点的に行うものは特に力を入れる等メリハリをつけた事業実施をすることで、スタッフのモチベーションも上がると思う。 ・利用者アンケートについて、男女で抱える課題が違う場合もあるため、性別の項目はあった方が良い。講座によっては無くしても良いと思う。 ・計画を踏まえ、今の立ち位置を確認する必要がある。どこを重点とするのか、そのためには何が必要かスタッフ、他団体と共有すると良い。

【E 評価委員】

- ・相談体制（面談、メール、電話等）を明確にHP等で示されていると思うが、相談件数が少ない点が気になる。市民活動についての相談が気軽にできる体制を取れば、件数が増加するのではないかと。
- ・多様な市民が利用され、その後につながる事例については相談件数等に反映されてくると思う。
- ・「中間支援施設としてどうあるべきなのか」が不明確な印象を受ける。
- ・協働の結果が見えにくい。
- ・施設の満足度は大変高くすばらしい。また、地域に根付いた施設として利用されている。
- ・多くの利用者がいると思うが、個人情報の管理（ツールも含め）が不明確。
- ・利用者のニーズ等を数値で明確化すること、また、講座・研修の目標設定を行い評価する仕組みも取り入れると良いと思う。

評価委員会としての意見

仕様書、事業計画書に沿って事業が実施されており、市民に寄り添った施設運営、時節にあわせた講座の実施など工夫が多くみられる。また、市民活動を市民に自分ごととして捉えてもらうことを強く意識した運営を心掛け、その効果が表れている。

事業実施にあたっては、市民活動促進基本計画を踏まえ、現在の立ち位置の確認し、対象・目標等を明確にすること、事業実施後に振り返りを行うことが望ましい。また、清水市民活動センターとの連携等により、利用者目線に立った事業実施をさらに進められたい。

申請書等の作成について指導・助言をする中間支援団体という立場にあるため、市に提出する事業報告書については、数字等の根拠、調査結果、意見の反映等をしっかり示すとともに、書き方を工夫する等わかりやすい報告書の作成を求める。